

## 円城浄水場有機フッ素化合物（PFOS、PFOA）検出について

円城浄水場において、水道法で定める検査項目以外で、国の水質管理目標設定項目の検査において国の暫定目標値を超えていたことが判明したため、飲料水としての使用制限を行うことと共に給水対応をとったところでございますが、対応が遅れたことをお詫び申し上げます。

今回の件については、ご心配とご迷惑をおかけしており誠に申し訳ございません。

吉備中央町長

### [経緯等]

- ・経緯：(公財)日本水道協会が実施する「令和4年度水道統計調査」へ調査協力する中で、円城浄水場（案田配水池）において、PFAS\*のうちの水質管理目標設定項目（PFOS、PFOA）の暫定目標値50ng/Lを超える1,400ng/Lが検出されている旨、10/13(金)保健所より連絡があり、緊急対応の必要性を指摘された。
- ・範囲：円城浄水場 給水区域
- ・取水場所：河平ダム
- ・世帯数：522世帯、約1,000人
- ・目標値を超えた物質：有機フッ素化合物 PFOS、PFOA（暫定目標値50ng/L）
- ・原因：不明
- ・対応：給水車及びペットボトル水により配水

### [補足]

- ・調査（検査結果）の把握

時 期	検査結果	備 考
【1回目】(R2)2020年11月4日	800ng/L	暫定目標値 50ng/L
【2回目】(R3)2021年10月27日	1,200ng/L	
【3回目】(R4)2022年10月26日	1,400ng/L	
【追加検査】 (R5)2023年10月16日	速報値 1,100~1,200ng/L	

-----  
\* PFAS とは、4700 種類以上の人工的に合成された有機フッ素化合物群の総称で、PFOS（ペルフルオロオクタンスルホン酸）、PFOA（ペルフルオロオクタン酸）はその代表的なものです。

これらの物質はコレステロール値の上昇、発がん、免疫系等との関連が報告されていますが、どの程度の量で影響が出るのか、いまだ確定的な知見はなく、現在も国際的に検討が進められています。

なお国内では PFOS、PFOA の摂取が主たる要因と見られる健康被害が発生したという事例は確認されていません。